

TOYO PRESS

次の100年に向けて、明石から世界へ。

夏号

vol.341

2026 Summer

結集する、 技術と人の力。

CONTENTS

- P.01 多様な力が、新たな価値を生み出す。
- P.03 産学連携が生み出す、新たな技術と価値。
- P.05 届け方にも、価値がある。
- P.07 製品紹介／拠点一覧



多様な力が、 新たな価値を 生み出す。

TOYOイノベーションは、日精樹脂工業との経営統合により、新たに「GMSグループ(Global Molding Solutions)」へ参画しました。この統合は、日本の成形技術と、それを支える人材・知見を次世代へつないでいくための新たな基盤づくりでもあります。各社が持つ技術や製品、グローバルネットワークを結集しながら、グループシナジーによる新たな価値創出につなげていきます。

技術・ノウハウ共有が、開発力を加速する。

GMSグループでは、それぞれ異なる強みを持つ各社が連携し、新たな価値創出に取り組んでいます。各社が持つ技術や製品、開発ノウハウを掛け合わせることで、これまで以上に幅広い提案や対応が可能になります。また、技術・ノウハウ共有による開発スピード向上や、制御技術の内製化、部品共通化による効率化など、グループ連携によるさまざまな相乗効果も進んでいます。さらに、各社が培ってきた技術や知見を共有することで、新たな製品開発や性能向上にもつながっています。重複開発の削減や製造効率向上を図りながら、変化する市場ニーズへの迅速な対応を進めています。製品単体の提供にとどまらず、生産現場全体を

見据えた提案強化にも取り組むことで、お客さまごとの課題やニーズに対し、より柔軟な対応を目指しています。

グローバルネットワークが、対応力を強くする。

GMSグループへの参画によって、海外市場における対応力強化も進んでいます。各社が持つ販売・サービスネットワークを連携させることで、地域ごとの市場ニーズや使用環境に応じた、より迅速かつ柔軟な対応が可能になります。海外拠点やサービス体制、人材を相互活用することで、導入提案からアフターサポートに至るまで、世界各地で安定した対応品質の実現を目指しています。

また、各地域で得られた市場情報やお客さまニーズをグループ内で共有することで、製品開発や提案活動へのフィードバック強化にもつなげていきます。

今後も、グローバルネットワークを活かしながら、お客さまに安心してご相談いただける体制づくりを進めてまいります。

製品提案から、課題解決提案へ。

GMSグループでは、単に製品を提供するだけでなく、お客さまのモノづくり全体を支えるソリューション提供を目指しています。

成形機や周辺設備、アフターサービス、グローバルサポートなど、各社の強みを掛け合わせることで、生産現場全体を見据えた総合的な提案が可能になります。

What's GMS?

GMS (Global Molding Solutions) は、成形機・周辺機器・サービスを含めた総合的なソリューション提供を目指すグループです。

各社が持つ技術やネットワークを連携させることで、グローバル市場における価値提供強化を進めています。

GMSグループの詳細はこちら▶



連携によって、成形の未来を支える。

GMSグループでは、各社が持つ技術やノウハウ、人材、グローバルネットワークを結集しながら、より高い価値提供を目指しています。

開発力・対応力・提案力をさらに強化することで、お客さまのモノづくりを支え、成形加工工業全体の持続的な発展へ貢献してまいります。

今後もGMSグループの一員として、多様な技術と人の力を掛け合わせながら、新たな成形ソリューションの創出に取り組んでまいります。

より高い付加価値提供に取り組んでまいります。

近年では、製品性能だけでなく、生産効率向上や安定稼働、保守対応まで含めた提案が求められるケースも増えています。GMSグループでは、各社が持つ技術やノウハウを活かしながら、多面的な視点でお客さま課題への対応を進めています。

製造現場ごとに異なる課題や生産条件に対して、各社の知見や技術を活かしながら、最適な提案につなげていくこともGMSグループの強みの一つです。

また、製品導入後のサポート体制強化にも取り組んでおり、長期的な安定稼働や運用面まで含めた価値提供を目指しています。

で、生産現場全体を見据えた総合的な提案が可能になります。

近年では、製品性能だけでなく、生産効率向上や安定稼働、保守対応まで含めた提案が求められるケースも増えています。

GMSグループでは、各社が持つ技術やノウハウを活かしながら、多面的な視点でお客さま課題への対応を進めています。

製造現場ごとに異なる課題や生産条件に対して、各社の知見や技術を活かしながら、最適な提案につなげていくこともGMSグループの強みの一つです。

また、製品導入後のサポート体制強化にも取り組んでおり、長期的な安定稼働や運用面まで含めた価値提供を目指しています。

SYNERGY

産学連携が生み出す、新たな技術と価値。

TOYOイノベックスでは、研究機関や企業との連携を通じて、新たな技術開発に取り組んでいます。その取り組みの一つとして、2025年度にNEDO(国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構)の研究開発プロジェクトに採択されました。今回は、プロジェクトに携わるメンバーへのインタビューを通じて、その研究開発の価値や取り組みについて伺いました。



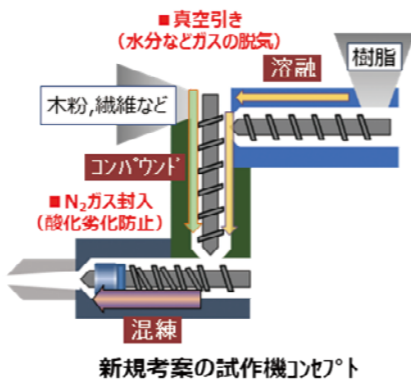
環境対応を、『使える技術』へ。

TOYOイノベックス株式会社
基盤技術開発部 部長
井上 玲



『混ぜられなかったもの』を、混ぜられるように。

TOYOイノベックス株式会社
技術本部 プラスチック開発部 部長
井上 誠



NEDOとは、どのような機関ですか？
NEDOは、エネルギー・環境分野や産業技術分野における研究開発を支援する国立研究開発法人です。将来性や社会的意義の高い技術開発テーマに対して、産学官連携による研究開発支援を行っています。
弊社では以前からバイオマスプラスチックの高機能化に関する研究を進めており、その取り組みがNEDO公募テーマと合致したことから、大学や企業と連携してプロジェクトへ応募しました。
NEDOに選出されることには、どのような意味がありますか？
研究開発テーマがNEDOプロジェクトとして採択されることは、技術力や研究開発力が一定水準以上に評価された一つの証でもあると考えています。
NEDOという機関をご存じない方もいらっしゃるかもしれませんが、支援した研究開発の中には、後にノーベル賞につながった技術事例もあり、日本の先端技術開発を支える存在として高い評価を受けています。
実際に、NEDOをご存じの方からは「すごいですね」と声を掛けていただくこともあり、技術的な信頼性や将来性への評価につながっていると感じています。

どのような研究開発ですか？

現在取り組んでいる『バイオマスプラスチックの高機能化に関する研究』というのは、わかりやすく言うと、植物由来のプラスチックを「より丈夫に、より使いやすくする」ための研究です。
近年は、環境負荷低減やリサイクルへの関心が高まる中で、石油由来材料に代わる素材開発が求められています。

今回の研究では、植物由来樹脂と木粉・繊維素材を混ぜ合わせながら、そのまま射出成形できる技術開発を進めています。材料をナノレベルで均一に混合する技術や、異なる素材同士をなじみやすくする界面制御技術などを活用し、強度や耐久性、リサイクル性向上を目指しています。

共同開発の価値とは？

今回は同志社大学、神戸大学、コニカミノルタ株式会社など、さまざまな研究機関・企業と連携しながら研究開発を進めています。

大学が持つ基礎研究の知見と、企業側が持つ実用化・製品化の視点を掛け合わせることで、より実践的な技術開発につながっています。例えば、大学側では材料そのものの研究や「どう混ぜれば性能が向上するか」といった研究を進め、TOYOイノベックスでは、それを実際の成形工程へどう落とし込むかを検証しています。

材料の「レシピ」を大学が考え、それをどう「調理」するかを企業側が担うイメージです。



INTERVIEW

研究だけで終わらせない。
『大学の知見』と『企業の技術』をつなぐ。

技術は製品へどう活かされますか？

今回の研究では、材料を混ぜ合わせる「コンパウンド」と、製品を形にする「射出成形」を一つの工程で行える装置開発にも取り組んでいます。

従来は、材料づくりと成形が別工程だったため、設備やコスト、熱による材料劣化などが課題でした。今回の技術では、それらを一体化することで、生産性向上やコスト削減、品質安定化にもつながる可能性があります。

また、既存の汎用機をベースに開発を進めているため、実際の生産現場へ導入しやすい点も特徴です。

今後の展開について教えてください。

現在進めている研究開発については、今後の製品展開も見据えながら、実用化に向けた取り組みを進めています。研究開発を通じて得られた技術や知見を、より高品質で信頼性の高い製品づくりに活かしていきたいと考えています。

今後は、展示会などを通じた情報発信にも取り組みながら、研究開発の成果や技術力を広くPRしてまいります。



研究開発の詳細はこちらをご覧ください

What's NEDO?

NEDO(国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構)は、エネルギー・環境分野や産業技術分野における研究開発を支援する政府系機関です。

NEDO(国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構) サイト▶



RELIABILITY

届け方にも、 価値がある。

TOYOイノベックスでは、日本国内だけでなく、世界各地のお客さまへ製品を提供しています。製品を安全かつ確実にお届けするため、出荷工程においても品質を重視。大物貨物梱包では専門パートナー企業と連携し、輸送体制を構築しています。『届ける品質』まで含めて価値と考え、グローバル市場への展開を進めています。

世界へ届ける、その一台のために。

製品を安全に、そして高品質な状態でお届けするためには、出荷工程における品質管理も重要です。

TOYOイノベックスでは、一台一台の製品特性や輸送条件に応じた梱包・出荷対応を行い、輸送時の品質維持に取り組んでいます。特に大型設備では、輸送環境を考慮した細やかな対応が求められます。

お客さまへ安心して製品をお届けするため、製品品質だけでなく、『届ける品質』にもこだわり、世界各地への出荷を支えています。

パートナーシップが、出荷品質を支える。

大型設備の梱包・出荷では、高い専門性と豊富な経験が求められます。TOYOイノベックスでは、大物貨物梱包を専門とするパートナー企業と連携しながら、

製品ごとに最適な梱包対応を進めています。

製品形状や輸送条件に応じて梱包仕様を調整し、輸送時の品質維持につなげています。現場での細かな確認や調整を通じて、高品質な出荷対応を支えています。

製品をつくるだけでなく、『届ける』ことまで含めて価値と考え、パートナー企業との連携強化を進めています。

グローバルネットワークが、世界展開を支える。

TOYOイノベックスでは、海外拠点やグローバルネットワークを活かしながら、世界各地のお客さまへ製品・サービスを提供しています。

グローバル市場では、地域ごとのニーズや使用環境に応じた対応が求められます。各地域との情報共有や販売・サービスネットワークを活かし、製品導入後まで含めた迅速かつ柔軟なサポート体制強化を進めています。

今後も、グローバルネットワークとパートナーシップを活かしながら、世界市場における価値提供強化を進めてまいります。

世界へ届ける、その先まで。

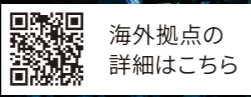
TOYOイノベックスでは、製品開発から出荷・サービス対応まで、一貫した品質提供に取り組んでいます。

多くのパートナーや海外拠点と連携しながら、『届ける品質』の向上を進めていくとともに、グローバルネットワークを活かして、世界各地のお客さまへ安心と信頼をお届けしていきます。



製品梱包風景

GLOBAL NETWORK
国内16拠点、海外63拠点を結ぶグローバルネットワーク



PARTNERSHIP

撮影協力：株式会社マブチ

Versatile Molding Machine

Si-7 series

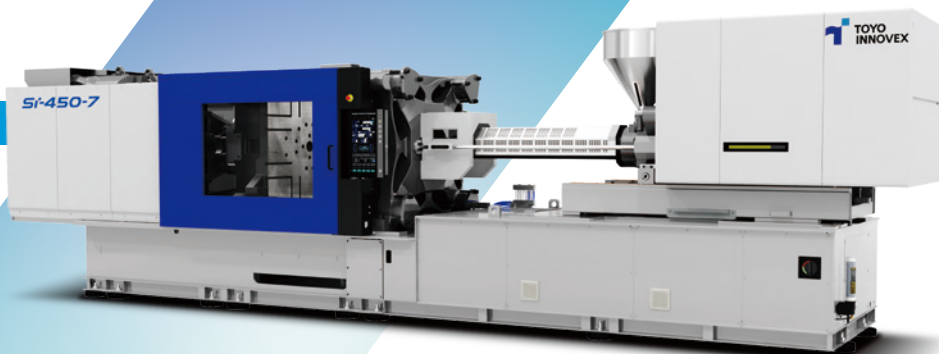
多用途多目的成形を一台の成形機で完結

Si-7シリーズ 電動サーボ射出成形機

Siシリーズの特徴を継承しながら、最新のIoTや制御技術を搭載し、多機能性を追求した高性能モデル



製品情報はこちら



High-end Die-casting Machine

BD-V7EX series

高速加速度100Gを実現し制御システムを刷新したハイエンドダイカストマシン

BD-V7EXシリーズ 油圧ダイカストマシン

高速加速度100Gを実現したハイスペック機であり、制御システムを刷新したV7EXシリーズ近年、多様化が進むダイカストに対応し多種多様な製品の casting が可能な高機能ダイカストマシン



製品情報はこちら



TOYOイノベックス株式会社

本社・工場：〒674-0091 兵庫県明石市二見町福里523-1
TEL.078-942-2345 (代表) FAX.078-943-7275

東関東支店：〒332-0034 埼玉県川口市並木4丁目5-16
TEL.048-258-6601 FAX.048-258-6609

西関東支店：〒241-0804 神奈川県横浜市旭区川井宿町8-5
TEL.045-951-8000 FAX.045-951-8400

中部支店：〒465-0051 愛知県名古屋市中東区社が丘1丁目1202
TEL.052-704-4500 FAX.052-704-3980

関西支店：〒577-0012 大阪府東大阪市長田東5丁目1-28
TEL.06-6746-2434 FAX.06-6746-2864

西日本支店：〒674-0074 兵庫県明石市魚住町清水2241 山榮ビル4F
TEL.078-943-0304 FAX.078-943-0301

本社 海外部：〒674-0091 兵庫県明石市二見町福里523-1
TEL.078-943-7474 FAX.078-943-7222

仙台営業所：TEL.022-388-8414 FAX.022-388-8415

水戸営業所：TEL.029-272-3520 FAX.029-272-9214

北関東営業所：TEL.0284-91-0321 FAX.0284-91-2809

三島営業所：TEL.055-973-2032 FAX.055-973-2033

浜松営業所：TEL.053-424-6966 FAX.053-424-6967

岐阜営業所：TEL.058-274-2073 FAX.058-274-0626

三河営業所：TEL.0566-73-7311 FAX.0566-73-7312

北陸営業所：TEL.076-252-5370 FAX.076-252-9778

奈良営業所：TEL.0745-53-4825 FAX.0745-52-7279

九州営業所：TEL.0942-36-5070 FAX.0942-36-5071



会社情報はこちら



YouTubeチャンネルはこちら